

元城小学校跡地の発掘調査成果について（中間報告）

1 発掘の目的

浜松城公園長期整備構想（平成26年2月）に基づき、元城小学校跡地の活用に係る情報を得るため、地下に埋もれた浜松城の遺構を確認することを目的とする。

2 経緯

令和元年度 遺構残存状況の確認（第26次調査）

令和2年度 確認された遺構の詳細調査（第35次調査）

調査開始後2年を目途に中間報告（本報告）

3 主な成果

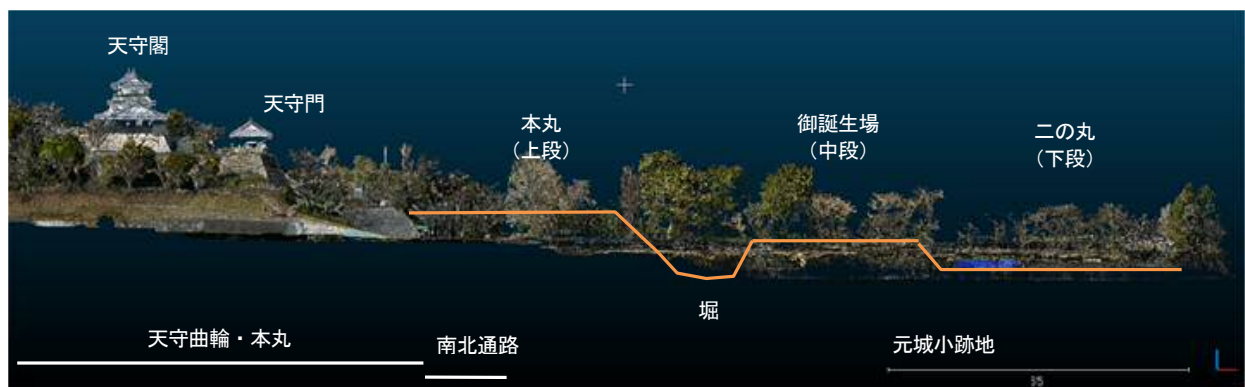
- (1) 本丸を囲む堀と石垣
- (2) 御誕生場（2代将軍秀忠関連地）の形状と遺構
- (3) 二の丸の建物基礎（御殿基礎か）

戦国時代から江戸時代に至る浜松城に関連する遺構を広範囲で確認できた。

今後の継続的な調査を通じ、城内施設の構造や変遷を明らかにしていく。

4 今後の予定

- (1) 報道公開 9月中旬
- (2) 議会向け現地説明会 9月23日（水）
- (3) 市民向け現地説明会 9月26日（土）
- (4) 中区協議会（現地説明含む） 9月30日（火）
- (5) 令和3年度～令和4年度 詳細調査を継続（令和5年度、報告書作成）

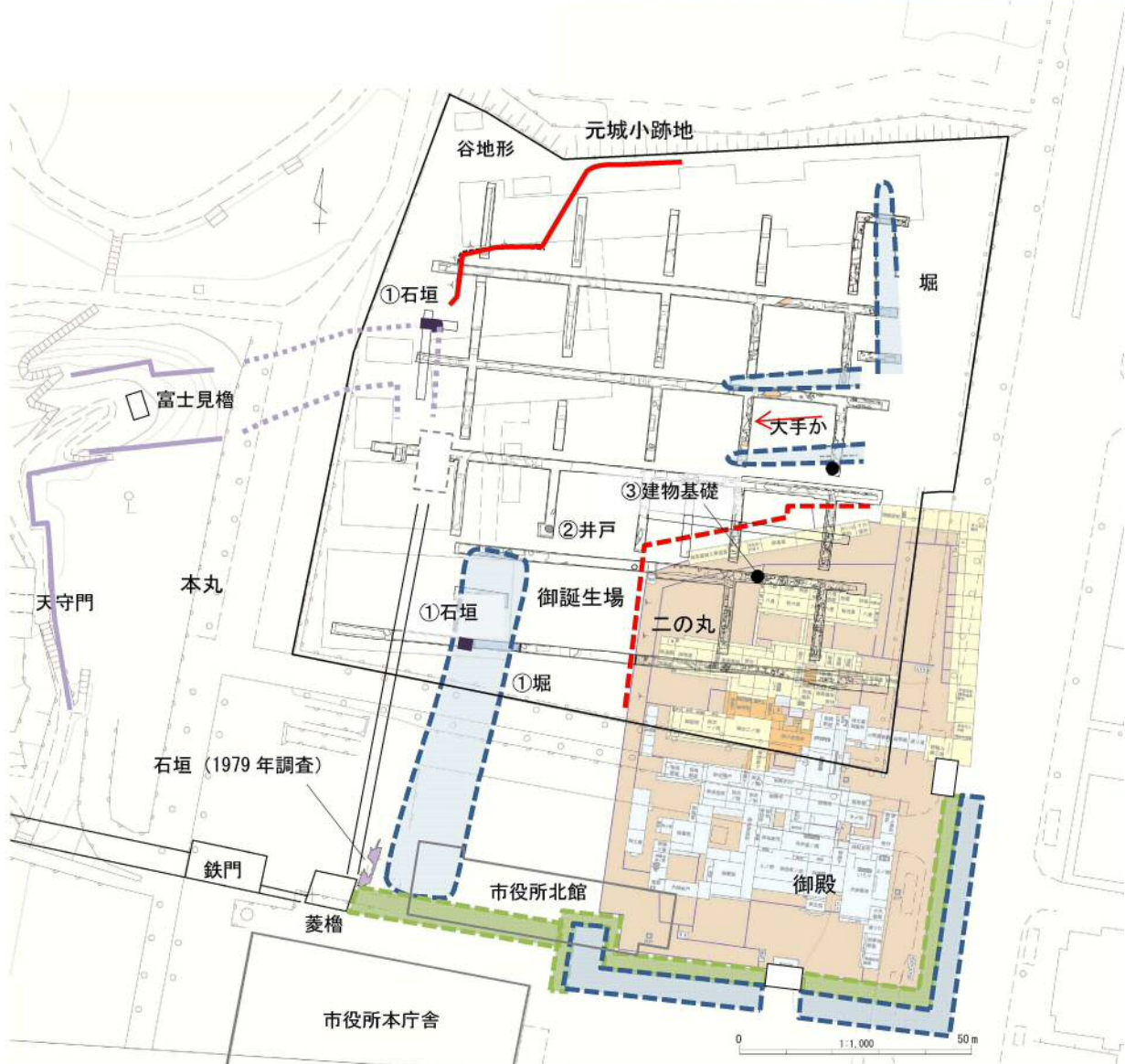


南からみた調査対象地イメージ図

## 令和2年度 元城小学校跡地における発掘調査の概要

- 期 間 令和2年6月1日～令和3年1月末頃  
調 査 地 元城小学校跡地（中区元城町）  
調査面積 約1,500㎡  
調査主体 浜松市（主管：文化財課）  
目 的 浜松城公園長期整備構想に係る内容確認のため  
調査成果 ①本丸を囲む堀と石垣  
おたんじょうば  
②御誕生場の形状と遺構  
③二の丸の建物基礎（御殿基礎か）

戦国時代から江戸時代に至る浜松城に関連する遺構を広範囲で確認できた。今後の継続的な調査を通じ、城内施設の構造や変遷を明らかにしていく。



浜松城の構造と元城小跡地の調査成果